

防災行政無線戸別受信機

NRE - 399

取扱説明書

日本無線株式会社

1. 概要

1-1 概要

(1) 本機は、60MHz帯を使用した市町村防災行政無線システム（市町村デジタル同報無線システム）の通報を各家庭で受信するための防災行政無線戸別受信機です。

(2) 本機は、次の選択呼出制御機能を有しています。

- ・緊急一括呼出
- ・一括呼出
- ・群呼出
- ・個別呼出

以上の呼出を受けると、本機は自動的に受信状態になります。

(3) 本機の音量は、音量つまみにより連続可変できます。ただし、緊急一括呼出の場合は音量つまみの位置にかかわらず自動的に最大音量になります。緊急一括呼出中に解除ボタンを押すことで、音量つまみによる調整が可能となります。

(4) 本機は、市町村役場に設置された親局からの録音指示に従い、通報内容を自動録音することができます。親局からの録音指示がない通報の場合でも受信時に本機の録音ボタンを押すことで、通報内容を手動録音することができます。

また、予め留守録音設定にすることで、自動通報内容を自動的に録音することも可能です。

録音した内容は、再生ボタンを押すことで、再生することができます。

通報内容の録音時間と録音件数は、標準で2分×10件まで可能です。

設定により録音時間20分の範囲内で、録音件数を最大40件まで増やすことが可能です。

電源を切っても数分程度は録音内容が保存されます。

(5) 本機は、通常AC100V 50/60Hzを使用し、停電時にはDC3V

（単1型、単2型、単3型のアルカリ乾電池2本）を使用します。

(6) 本機は小型、軽量に設計されており、非常時の持ち出しが容易になっています。

(7) 本機にファクシミリ受信装置（オプション）を接続することで親局装置からのFAX伝送を受信することができます。

(8) 本機に文字表示装置（オプション）を接続することで親局装置からの文字伝送を受信し、専用ディスプレイに表示することができます。

1-2 品名及び型式

品名	防災行政無線 戸別受信機
----	--------------

形名	NRE-399
----	---------

2. 構成

2-1 構成

本機の構成は次の通りです。

区分	構成品名	数量	備考
本体	NRE-399	1	伸縮アンテナ付き
付属品・添付品	電源コード	1	約4m
	取付プレート	1式	木ネジ4×16mm2本
	取扱説明書	1	
	乾電池	2本	単2型アルカリ乾電池

2-2

寸法及び質量

- (1) 外形寸法 約220(幅)×150(高)×75(奥行)mm(突起物を除く)
- (2) 質量 約1Kg(乾電池、電源ケーブルを除く)
- (3) 本体色 アイボリー

3. 定格・性能

3-1 定格

- | | |
|------------|--------------------------------|
| (1) 受信周波数 | 54～70MHz内の指定の1波 |
| (2) チャネル間隔 | 15kHz |
| (3) 通信方式 | 時分割多元接続方式 (TDMA) |
| (4) 変調方式 | 16QAM (16値直交振幅変調) |
| (5) 電源電圧 | AC100V±10% 50/60Hz |
| (6) 消費電流 | 約5W (定格出力時)、約1W (待ち受け時) |
| (7) 内蔵電池 | 単1、単2、単3形アルカリ乾電池 (公称1.5V) × 2個 |
| (8) 停電補償 | 公称24時間以上 |

3-2 環境条件

- | | |
|----------|---------------|
| (1) 温度条件 | 0～40℃ |
| (2) 湿度条件 | 95% (35℃において) |

3-3 受信部性能

- | | |
|----------------|--|
| (1) 受信感度 | +9dBμV以下 (BER: 1×10^{-2} 、フェージング無し) |
| (2) スプリアスレスポンス | 53dB以上 (常温にて) |
| (3) 隣接チャネル選択度 | 42dB以上 (常温にて) |
| (4) 相互変調特性 | 53dB以上 (常温にて) |
| (5) 副次発射強度 | 4nW以下 (常温にて) |
| (6) 空中線インピーダンス | 50Ω不平衡 |

3-4 電気性能

- | | |
|-------------|------------------|
| (1) スピーカー出力 | 0.5W以上 (商用電源入力時) |
|-------------|------------------|

3-5 選択呼出部性能

(1) 呼出動作

下記の各信号にて呼出および終話できます。

- | | | |
|-----------|-------|------------|
| a: 緊急一括呼出 | …………… | 強制音量で一括呼出 |
| b: 一括呼出 | …………… | 通常音量で一括呼出 |
| c: 群呼出 | …………… | 指定の60郡で呼出 |
| d: 個別呼出 | …………… | 指定の個別番号で呼出 |
| e: 終話 | …………… | 放送終了 |

(2) 分割放送

一括放送、群・個別放送の分割放送 (時差放送) は指定された分割番号 (時差番号) で呼び出しが行えます。

4. 外形図、各部のはたらき

4-1 外観

図1に外観を示します。

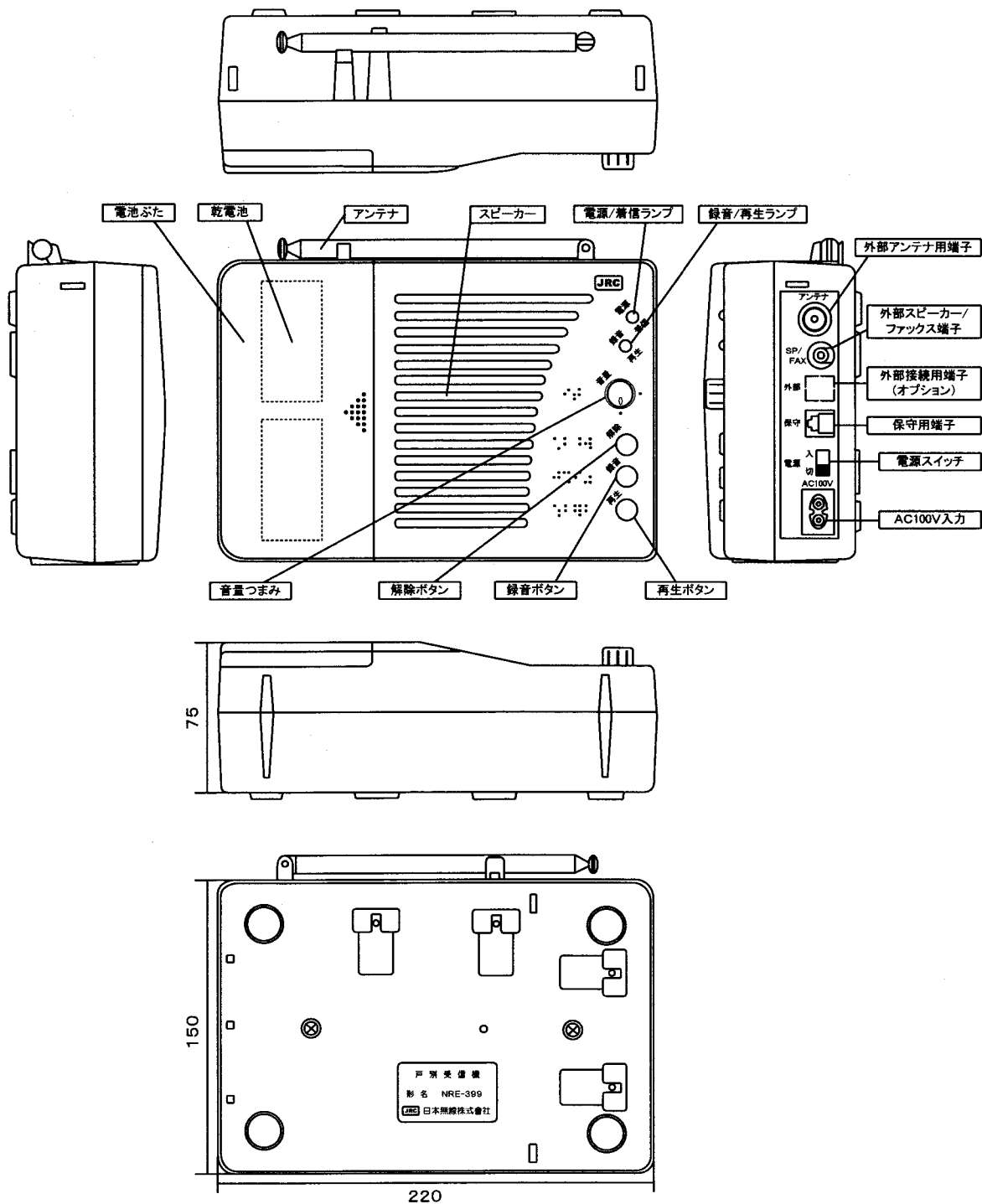


図1

4-2 各部のはたらき

- ・外部アンテナ用端子

戸別受信機に内蔵されている伸縮アンテナでは受信が不可能な場合、外部アンテナを取り付け受信を可能にします。その際に使用する端子です。

- ・外部スピーカー／ファックス端子

外部スピーカーやファックス（オプション）を接続する場合に使用します。

- ・保守用端子

周波数や市町村コード、録音設定などの各種データを書き込む際に使用する端子です。

- ・電池ぶた

中に乾電池2本（単1、単2、単3のいずれか同種の電池）を入れます。

- ・音量つまみ

音量を調整します。時計方向に回すと音量が大きくなります。

4-3 ランプのはたらき

ランプ	色	ランプ動作	状態
電源/着信ランプ	緑	点灯	AC100V使用中
		点滅	乾電池使用中
	橙	点滅	通報受信 ※1
	赤	点灯	故障
		点滅	乾電池が消耗している、又は入っていない
録音/再生ランプ	緑	点灯	留守録音設定中 ※2
		点滅	再生中
	橙	点灯	再生されていない録音通報があります (留守録音設定なしの場合)
	緑/橙	交互点灯	再生されていない録音通報があります (留守録音設定中の場合 ※3)

- ※1 データ受信 (FAX受信等) の場合も橙点滅します。
- ※2 留守録音設定されていなくても、緊急通報などの自動録音通報の受信中は緑点灯します。
- ※3 留守録音設定されていなくても、緊急通報など自動録音通報の受信中は緑/橙交互点灯します。

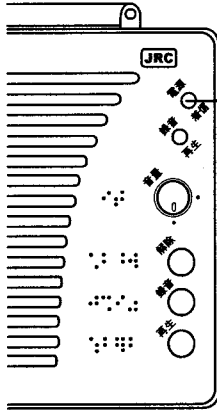
4-4 ボタンのはたらき

ボタン	操作	機能
解除ボタン	緊急通報中に押す	最大音量を通常の音量に戻します
	再生中に押す	再生を停止します
	留守録音設定中に押す	留守録音設定が解除されます
	解除ボタンを押しながら電源を入れる	録音されている通報音声を消去します
録音ボタン	待ち受け中に押す	留守録音設定されます
	通報受信中に押す	押してから約2分間 (通常設定)、通報を録音します (手動録音 ※1)
再生ボタン	待ち受け中に押す	録音通報があれば、新しい内容から順次再生します
	再生中に押す	次の録音内容を再生します (再生スキップ)

- ※1 手動録音後は留守録音設定されます。

5. 操作方法

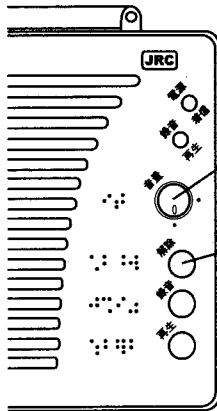
5-1 準備



電源／着信ランプが、緑点灯(AC動作時)、または緑点滅(乾電池動作時)していることを確認ください。

- ・電源スイッチは常に「入」にしておいてください。
- ・電源コードは抜かないでください。乾電池の消耗を防ぎます。
- ・乾電池は常に入れたまま使用してください。

5-2 音量調節



音量つまみを時計方向に回すと、音量が大きくなります。お好みの大きさに合わせてください。

緊急通報受信は最大音量で受信されます。音量が大きすぎる場合は、解除ボタンを押してください。通常の音量に戻ります。

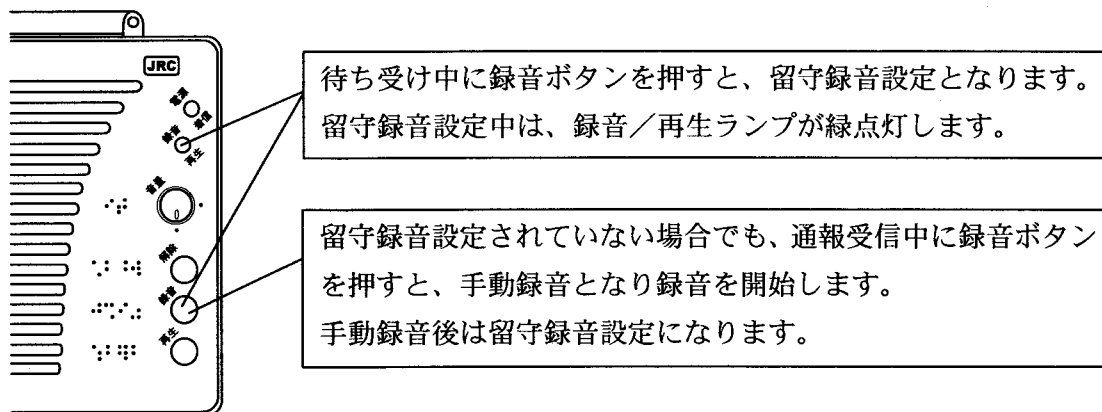
- ・音量つまみを最小にしても音は聞こえます。

5-3 録音方法

録音は「自動録音」「手動録音」「留守録音」の3種類があり、標準設定時で2分間×10件の録音が可能です。設定により録音時間20分の範囲で、録音件数を最大40件まで増やすことができます。

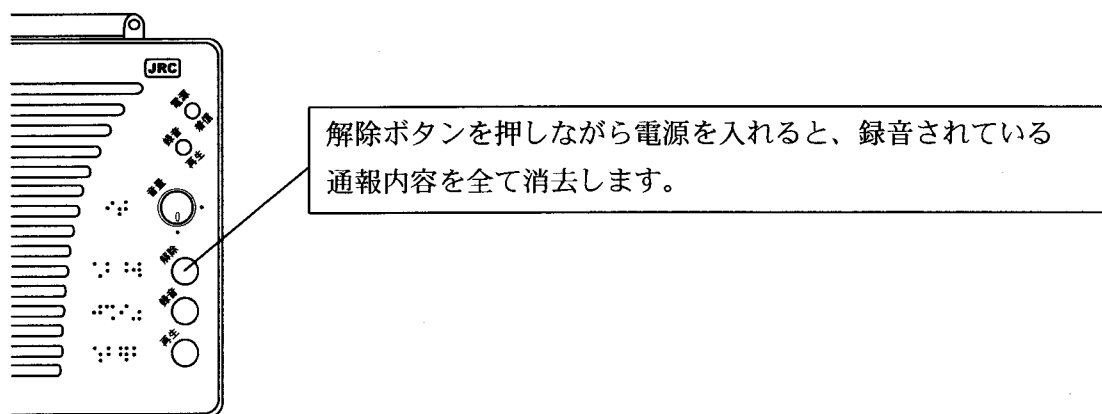
緊急通報など録音制御付き通報を受信した場合、自動録音されます。

留守録音設定すると、全ての音声通報を録音できます。

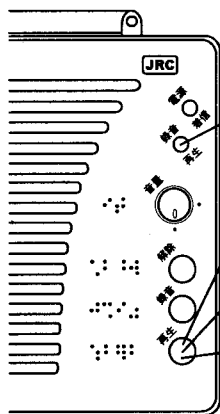


- ・録音時間と録音件数は設置前に決定されています。
- ・録音時間を超える通報の場合は、超えた分の音声は録音されません。
- ・録音件数を超えると、最も古い録音内容から上書きされます。
- ・一時的に電源が切れた場合でも、数分程度は録音内容が保存されます。
- ・録音を開始した場合、途中で録音を中止にすることはできません。
- ・留守録音設定を解除する場合は、解除ボタンを押してください。

5-4 録音内容の消去方法



5-5 再生方法



未再生の録音内容がある場合、録音／再生ランプが橙点灯
(留守録音設定中は、緑／橙の交互点灯)しますので、再生ボタ
ンを押して、再生してください。

再生中に再生ボタンを押すと、次の内容にスキップします。

未再生の録音内容を全て再生した後に、もう一度再生する場
合は再生ボタンを押します。

- 再生ボタンを押すと一番新しい通報から再生され、1件再生する毎に
“ピッ”と区切り音がなります。
- 一番古い通報を再生し終わると“ピッピッピッ”と音が鳴ります。

5. 乾電池の交換方法

5-1 安全に交換するために

- ・本体が取り付けプレートで壁などに設置されている場合、本体をプレートからはずし、安全な場所で電池交換を行ってください。
- ・電源スイッチを「切」にしてから電池交換を行ってください。

5-2 乾電池の交換

5-3 乾電池を入れる

5-4 乾電池の交換時期について

- ・定期交換 1年に1程度交換をお願いします。
- ・電源／着信ランプが点滅した場合、または長時間停電（5時間以上）した場合、交換をお願いします。

5-5 乾電池交換時のお願い

- ・単1、単2、単3形アルカリ乾電池いずれかの同種類2本を同時に使用してください。
(マンガン乾電池でも動作はしますが動作時間は短くなります。)
- ・電源スイッチを切ってください
- ・電源プラグをコンセントから抜いてください
- ・消耗した乾電池をそのまま入れておくと電池が液漏れを起こし、故障の原因となる恐れがありますので消耗した電池はすぐに取り出してください。
- ・電池の+、-を確かめて入れてください。
- ・数ヶ月に一度は電池の状態（サビ、液漏れ）確認してください。

6. お手入れのしかた

6-1 安全のために

- ・電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

6-2 お手入れの方法

- ・乾いた布で拭いてください
- ・ベンジン、シンナー、化学雑巾などは使用しないでください

6-3 長時間使用しない時

- ・電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、乾電池を取り出してください

7. 装置種別と外部接点の対応

7-1. オプション機器の接続について

戸別受信機の外部接続端子にオプション機器を接続することで、使用可能になりますが、戸別受信機の種類によって、使用できるオプション機器が異なります。

標準の戸別受信機では外部接続端子によるオプション機器の使用はできません。

7-2. 装置の種類

装置種別と通報・外部接点の対応一覧について表に示します。

装置種別	みなし音声データ伝送			非音声データ伝送			外部接点
	みなし FAX	みなし画像	みなし文字	非音声文字	非音声 FAX	非音声画像	
標準	×	×	×	×	×	×	なし
D型	○	○	○	○	○	○	FAX 着信
L型	×	×	×	○	○	○	回転灯制御
K型	×	×	×	○	○	○	外部 AMP

○：着信する

×：着信しない